

<b>学校教育目標</b>	「高めあう・やりぬく・感動する」 ○学習への興味と関心を広げ、自ら進んで学習に取り組もうとする生徒を育てます。(知) ○規則正しい生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒を育てます。(徳・体) ○互いの違いや良さを認め合い、思いやりとやさしさを持った生徒を育てます。(徳) ○何事もあきらめず挑戦していく生徒を育てます。(徳) ○集団や地域の一員としての自覚を持ち、社会に貢献できる生徒を育てます。(公・開)				
	<b>学校概要</b>	創立 75 周年	学校長 星野 久美子	副校長 伊吾田 政宗	3 学期制
児童生徒数: 946 人		主な関係校: 上末吉小学校・駒岡小学校・下末吉小学校・末吉小学校			

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>末吉中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<自分づくりに関する力> ○自己肯定感 ○コミュニケーション能力 ○地域貢献・社会参画する力	上末吉小学校 駒岡小学校 下末吉小学校 末吉小学校	学校・家庭・地域の中で育つ、 夢と希望に向かって努力できる子ども ○児童・生徒指導の情報の共有化のための定期的な情報交換 ○「末吉中学校区スタンダード」の運用・検討 ○児童・生徒及び教職員の交流活動並びに地域との交流の活性化 ○義務教育9年間の学びの連続性を軸とした授業参観・授業公開の実施

<b>中期取組目標</b>	学校・家庭・地域の連携や教師力の向上に組織的に取り組み、「信頼される学校」の実現を目指します。 ○授業改善や評価の研究に取り組み、主体的・探究的に学ぶ生徒を育てます。 ○個々の生徒の特性を理解し適切な支援を行うことで、誰もが安心できる環境づくりを進めます。 ○統一した方向性で生徒指導にチームで取り組み、場や時に応じた適切な行動を考え実行する生徒を育てます。 ○学校運営の公開性を高め、保護者や地域社会から信頼される開かれた学校づくりを実践します。 ○積極的な情報共有や充実した研修を通して互いに同僚性を高め、学び続ける意欲をもった職員集団を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①授業改善の視点である主体的・対話的で深い学びを踏まえ、生徒自らが問いを見だし解決していく授業を行うために研究研修を行います。②学習の成果を的確にとらえ、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるように学習評価を行います。
徳 人権・道徳教育	①人権講演会や人権作文・人権標語への取り組みなどを通して人権尊重の基盤を育成し、SDGsなどグローバルな視点で思考する生徒を育てます。 ②道徳の授業では生徒の実態に応じた教材を選定し、「議論する道徳」を促せるよう指導方法を工夫します。
体 健康教育	①新体力テストを実施し、その結果を基に体力向上に向けての取り組みを充実し、生徒が自主的に運動に取り組む環境を整えます。 ②食育や保健活動、学校保健委員会の充実を図り、健康な生活を送ろうとする意識や実践力を高めます。
公開 地域学校協同活動	①学校便り、PTA広報誌の発行、ホームページの更新を目指します。②小中連携会議の要望により検討していきます。③式典への参加も増えることが考えられるので、地域との連携をとっていきます。
いじめへの対応	①「いじめ防止対策委員会」を毎週定期的に行い、速やかな情報収集と共有化、「いじめ」への認識の共通理解を図り、対応や対策状況を組織として検討、確認します。②年間予定の中に教育相談を計画的に設定し、日々変化する生徒の様子や考え、悩みを受け止める時間を作り、いじめの早期発見、早期対応につなげます。
人材育成・組織運営(働き方)	①全教職員のスキルアップのため、年間の研修計画を立案し、指導主事の助言を受け研修を実施します。また、職員会議等を利用し、校内の教職員を講師として研修を実施します。②文書の簡素化・効率化を行い、会議の時間短縮に努め、業務の軽減・質の改善を目指します。
特別支援教育	①一人ひとりのニーズを把握して適切な教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を正しく作成し継続して支援に活用できるよう努めます。②特別支援教室の円滑な運営ができるよう定期的に特別支援委員会を開催し、個への支援が適切かどうか十分に図ってから利用開始し、継続して支援できるようにします。
安全教育	①防災訓練や防犯訓練、学校保健委員会の充実を図り、安全な生活を送ろうとする意識や実践力を高めます。 ②防災や防犯について学習を深めることで、命を守ることの大切さを実感させます。
生徒指導	①生徒の基本的な生活習慣の向上、そして社会の形成者として人の命の大切さや人権を尊重する態度を身につかせます。②生徒指導において教職員が一つのチームとなって、職員間の連携を図り、生徒の日常生活のあらゆる場面を通じ、生徒とのふれあいを深めながら、生徒の人間性や個性の伸長を図ります。
キャリア教育	従来の職業講話や職業体験ではなく、「探究活動」のプロセスの「情報収集」という観点で、設定したテーマの課題解決に向けた「職業調べ」や「職業講話」を行っていくことを目指す。①課題設定②情報収集③整理・分析④まとめ・表現を繰り返していき、「自分作り教育」としてのキャリア教育を目指していく。